

美術部・情報資料部報

美術部・情報資料部所員異動

平成八年四月一日付で、美術部第二研究室長三輪英夫は九州大学文学部助教に転任した。

平成八年四月一日付で、美術部主任研究官田中淳は美術部第二研究室長に昇任した。

平成八年四月一日付で、情報資料部長廣井雄一は文化庁文化財保護部伝統文化課主任文化財調査官に配置換になった。

平成八年四月一日付で、文化庁文化財保護部美術工芸課主任文化財調査官松島健は情報資料部長に昇任した。

美術部・情報資料部公開学術講座

第三十回公開学術講座を平成八年十月三十日（水）午後、東京都立美術館講堂において左記の通り開催した。

法隆寺金堂壁画について考える

勝木言一郎

一九一二年の自画像―萬鉄五郎と岸田劉生―

田中 淳

「日本美術年鑑」の刊行

美術部第二研究室の編集による「日本美術年鑑」（平成六年一月～十二月の記事）は平成八年三月に刊行された。

黒田清輝巡回展

昭和五十二年以来毎年開催してきた黒田清輝巡回展にかわるものとして、平成八年度は、左記の美術館において開催される「結成百年記念 白馬会―明治洋画の新风」に協力し、「湖畔」「昔語り下絵」等の代表作を出品した。

美術部・情報資料部報

石橋財団 ブリヂストーン美術館 十月十九日（土）～十一月二十八日（木）
 京都国立近代美術館 十二月十日（火）～九年一月二十六日（日）
 石橋財団 石橋美術館 二月七日（金）～三月十六日（日）

研究会

平成八年度

四月二十四日	美術史研究における課題と方法（1）	総合討議
五月二十二日	美術史研究の現状	佐藤道信
六月 五日	ふたつの頼朝像―頼朝浮上に関する事例報告―	米倉迪夫
六月二十六日	美術史学の体制試論	北澤憲昭
七月 十日	日本近代絵画史における明治十四年	山梨絵美子
	日本美術史の成立をめぐる	高木博志
七月三十一日	美術史研究における課題と方法（2）	総合討議
	長野・定勝寺蔵「補陀洛山聖境図」について	井手誠之輔
九月 十一日	美術史研究における課題と方法（3）	総合討議
九月二十五日	美術史研究における課題と方法（4）	総合討議
十月 三日	美術史研究における課題と方法（5）	総合討議
十月二十三日	美術史研究における課題と方法（6）	総合討議
十一月 一日	清朝宮廷内の中西美術交流	聶 崇正
十一月 六日	美術史研究における課題と方法（7）	総合討議
十一月十四日	輝ける河南古代文化	孫 傳賢
	漢代画像石の起源と彫刻方法及び冶金技術発展の関係	呂 品
十一月二十七日	法隆寺金堂壁画に描かれた山岳景の意義	肥田路美
	初唐期阿弥陀如来像の諸相	岡田 健
十二月 四日	美術史研究における課題と方法（8）	総合討議
十二月十一日	李朝初期の瀟湘八景図 中国・日本	板倉聖哲

イズムの創出—一九三〇年代の日本画の一傾向と

美術批評家の役割—

大熊敏之

十二月二十五日

美術史研究における課題と方法(9)

総合討議

一月 八日

美術史研究における課題と方法(10)

総合討議

一月二十二日

美術史研究における課題と方法(11)

総合討議

一月二十九日

研究調査報告 東寺兜跋毘沙門天像について

岡田 健

木彫仏請来動向から見た東寺兜跋像

松浦正昭

九世紀日本の武装像—「境界の像」の観点から

長岡龍作

二月 五日

美術史研究における課題と方法(12)

総合討議

二月二十六日

仏画における黄金身の表現

泉 武夫

定印の阿弥陀如来像について

武田和昭

三月 五日

美術史研究における課題と方法(13)

総合討議

三月 七日

日本精神主義芸術—十五年戦争の關係絵画の構造について

ポール・ヴェリ—

三月 十九日

イコン論と物質の聖化

鐸木道剛

島根県所在仏教美術資料の紹介—新出の仏像彫刻

的野克之

と懸仏を中心に

渡辺雄二

永祿年間をめぐり狩野派の動向

渡辺雄二